



TOKYO 2020

大会延期に伴う契約変更等対応

(東京2020大会 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去等に係る業務委託)

大会運営局 会場サービス部 サイネージ課

2020年10月14日

1. 原契約概要

■ 契約件名

東京2020 会場内のサインの製作・設置・維持・撤去に係る業務委託

受託者 : ノムラプロダクツ・凸版印刷コンソーシアム

契約の種類 : 特別契約

契約金額 : V5 予算の範囲内

契約期間 : 2020年3月～2021年11月

(既存倉庫契約期間 : 民間倉庫,2020年3月から10月末日まで,1,358坪)

数量 : 60 種 / 265,583 点

対象サイト : オリンピック42会場、パラリンピック22会場

選手村,公式空港,UAC,IBC/MPC,OFH/PFH, 練習会場 他

2. 対応方針

■基本方針

現在契約中の民間倉庫は、20年11月以降契約延長は不可。

「会場内のサインの製作・設置・維持・撤去」は、2021年の本大会の円滑な運営に必須な案件のため、既存契約の継続を前提に、大会期間に応じて保管先及び保管期間を変更し、契約変更を行う。

■継続の方向性

- ・ 大会延期決定前に先行着手した会場内サインを保管している委託業者手配の民間倉庫が10月末で契約期限終了となるため、20年10月中に新しい倉庫に移動し、21年の大会期間まで継続的に保管する。
- ・ 4月以降は出荷アッセンブリ等を行う集配拠点とする。

上記方針に関して、保管場所・諸条件を決定し、
契約変更を**20年10月末までに完了する。**

※なお、既存契約のうち、倉庫賃料を除く再設計費の契約変更については別途協議する。

※大会簡素化に伴うサインの効率化に関しては、大会全体の簡素化検討状況を踏まえ、別途協議する。

3. 会場内サイン保管倉庫 延期後の必要諸条件

① 利用期間

2020年10月～2021年10月まで

※20年10月20日頃から搬入開始予定

▼(イメージ) 20年9月時点の倉庫保管状況



② 保管面積

1,360坪（20年10月～21年10月）の面積が確保できること

③ 搬出搬入

大量のサインの荷下し・出荷を可能とするための大型トラック(10 t 車)の駐車
及びフォークリフト等による場内運搬が可能であること

④ コスト比

現民間倉庫より諸経費を含めて安価であること

※サイン物量が膨大である上に2m超の大型サインも含まれるため、上記内容を満たすことが条件となる。